

さかい〜統計情報館



The statistical report of Sakai City

Vol. 32

今回の数字

32.2%

作成日：平成30年11月21日

作成元：坂井市役所 企画情報課

TEL:0776-50-3013

FAX:0776-66-4837

MAIL:kikaku@city.fukui-sakai.lg.jp

～ 50年に1度のスポーツの祭典 ～

今年は第73回国民体育大会「福井しあわせ元気国体」と第18回全国障害者スポーツ大会「福井しあわせ元気大会」が開催されました。昭和43年に行われた第23回国民体育大会から50年ぶりの福井県での開催です。今回は国体・障スポにちなんだ統計を紹介します。

□福井県のスポーツをした人の割合は？

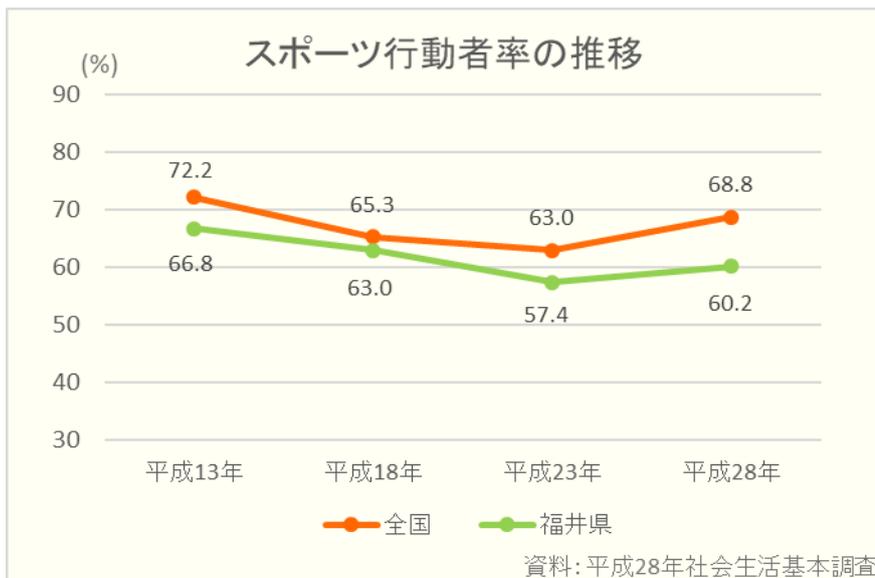
過去1年間でスポーツをした人の割合		
順位	都道府県	割合(%)
1	東京都	75.7
2	埼玉県	72.6
3	神奈川県	72.4
4	千葉県	71.6
5	滋賀県	71.6
6	愛知県	71.2
7	京都府	70.1
8	兵庫県	69.5
9	奈良県	69.5
10	栃木県	69.3
⋮		⋮
	全国平均	68.8
⋮		⋮
33	鳥取県	65.2
34	福井県	65.0
35	北海道	64.9
⋮		⋮
45	岩手県	60.6
46	秋田県	60.6
47	青森県	56.0

左の表は、過去1年間でスポーツをした人の割合（＝スポーツ行動者率）が高い順に都道府県別に並べたものです。福井県のスポーツをした人の割合は、全国でみると34番目で、全国の平均より3.8%低い65.0%となっています。



☆今回の資料作成に使用している「社会生活基本調査」は、5年に1度、約20万人を対象に実施される国の重要な統計調査の1つで、生活時間の配分や余暇時間における主な活動の状況など、国民の社会生活の実態を明らかにすることを目的に実施されています。

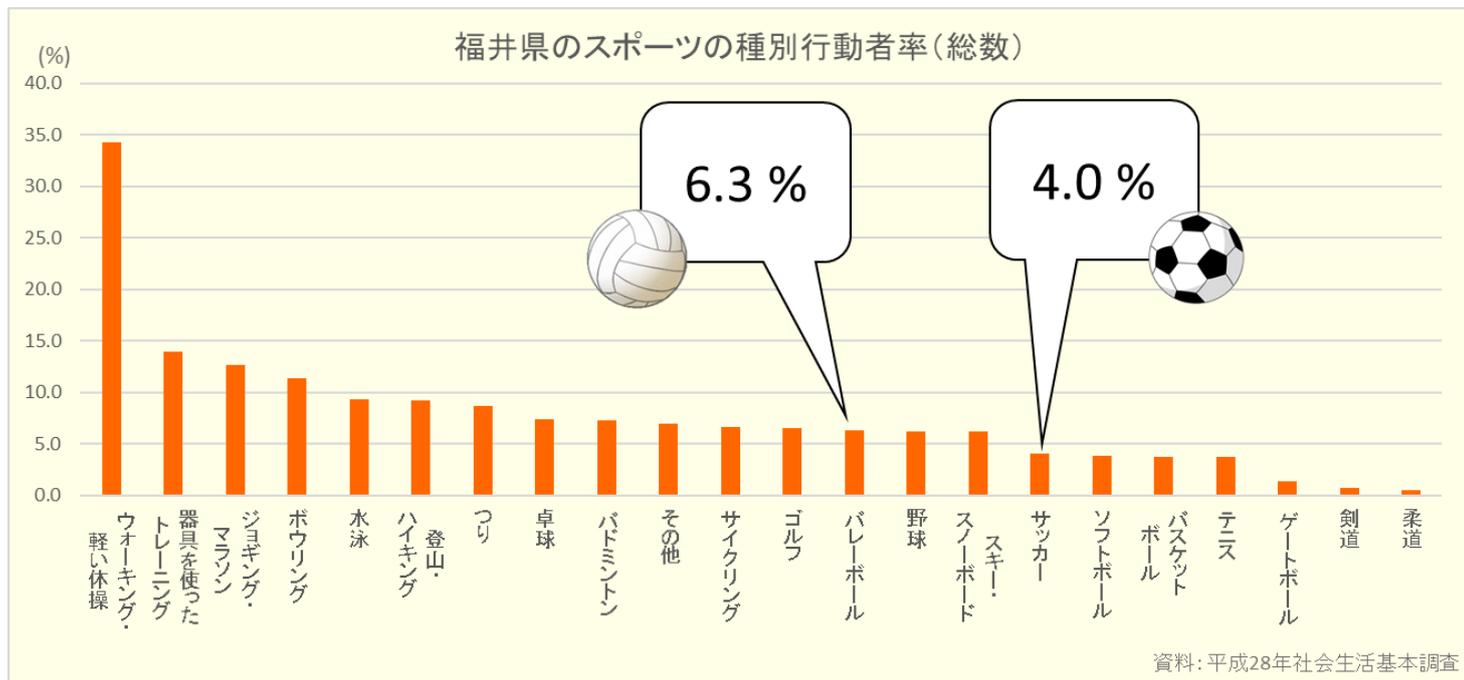
資料：平成28年社会生活基本調査



左のグラフはスポーツ行動者率の推移を表したグラフです。平成23年まで減少傾向にありましたが、平成28年には上向きに転向したことがわかります。

□福井県民に人気のスポーツは？

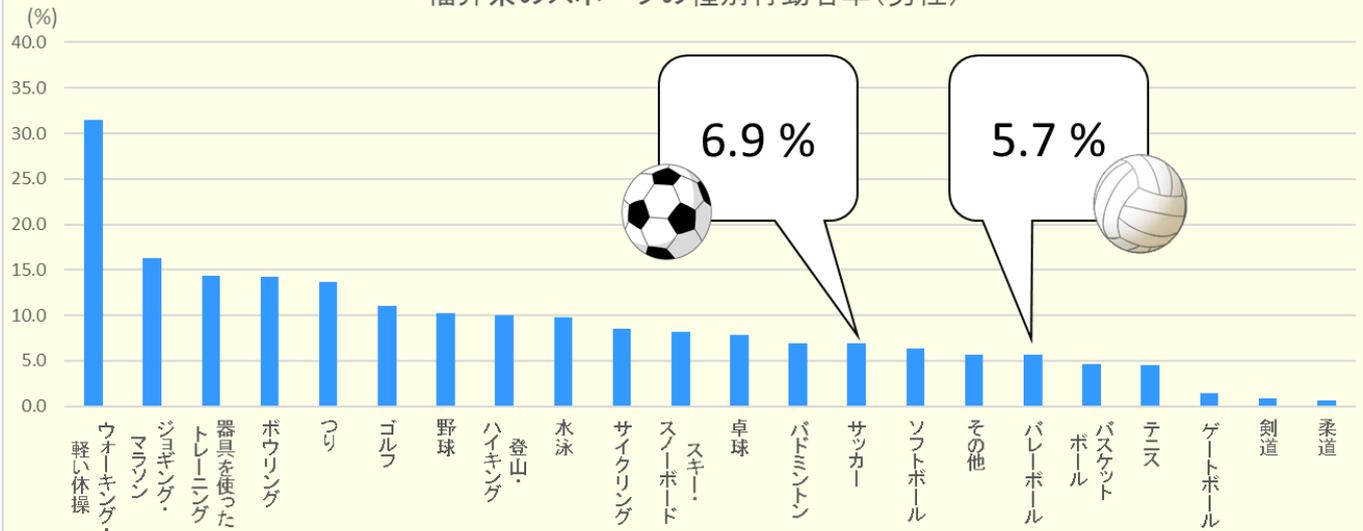
福井県民はどのようなスポーツを行っているのでしょうか。スポーツの種類ごとに行動者率を表してみました。坂井市が競技会場となったサッカー、バレーボールの行動者率はどのようになっているのでしょうか。



最も行動者率の高いスポーツは、34.2%のウォーキング・軽い体操となりました。バレーボールは6.3%、サッカーは4.0%となっています。次は男女別に見てみましょう。

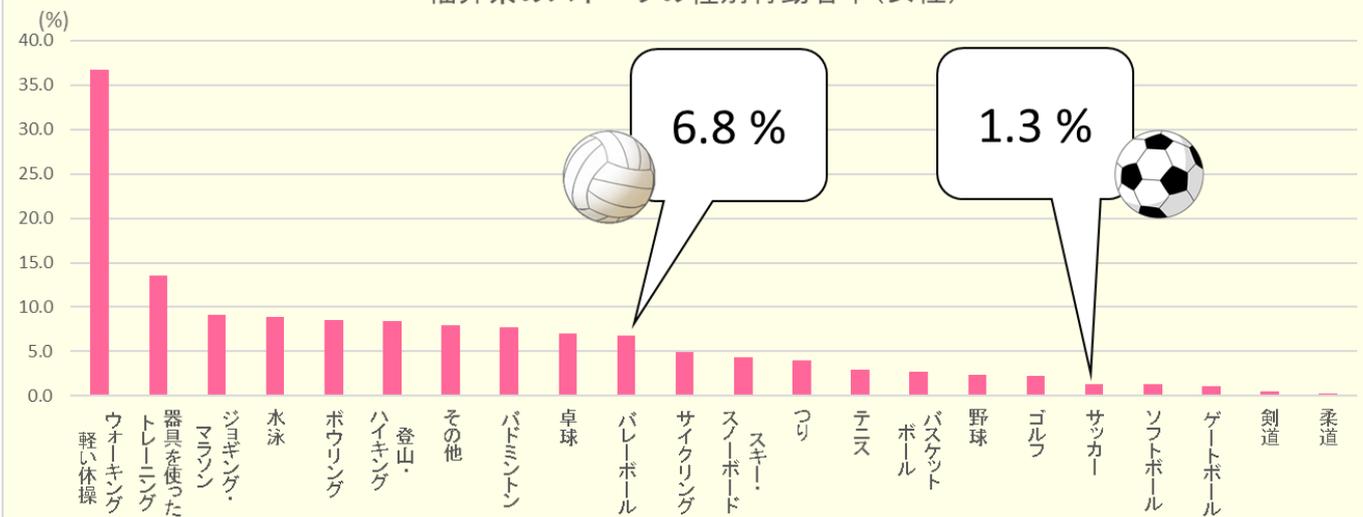


福井県のスポーツの種別行動者率(男性)



資料:平成28年社会生活基本調査

福井県のスポーツの種別行動者率(女性)



資料:平成28年社会生活基本調査

男女ともにウォーキング・軽い体操が最も多く行われています。2番目以降からは、男性と女性では少しずつ異なりますね。

男性におけるサッカーの行動者率は6.9%、バレーボールの行動者率は5.7%となりました。福井国体では成年男子サッカーにおいて、サウルコス福井が優勝を飾りました。国体サッカーにおける福井県勢の優勝は初となります。素晴らしい結果ですね。

女性におけるバレーボールの行動者率は6.8%となりました。福井国体ではビーチバレーボール女子が準優勝、バレーボール少年女子がベスト8となりました。また、サッカーの行動者率は1.3%で、女性のサッカー人口が少ないことがわかります。12月に福井県で開催される『日本女子フットサルリーグ 2018』には、坂井市内に拠点を置く女子フットサルクラブ『福井丸岡 RUCK』が出場します。日本一にも輝いたことのある福井丸岡 RUCK の活躍により、女子サッカー・女子フットサルに興味を持つ方が増えるといいですね。

福井県に住んでいる障害を持つ人の数

福井県では、全国初の取り組みとして、国体と障スポの融合を掲げていました。障害の有無にかかわらず、スポーツと一緒に楽しめるような大会を目指し、「国体・障スポ」のロゴマークを使用したり、国体期間中に障スポ競技を開催したりするなどの取り組みがなされました。



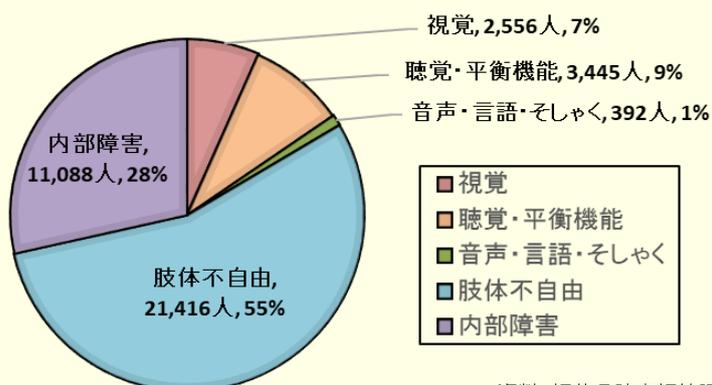
では、福井県には障害を持つ人が何人いらっしゃるのでしょうか。

障害者手帳の発行数で調べてみましょう。（※障害の程度により、身体障害を持つ人には身体障害者手帳、知的障害を持つ人には療育手帳、精神障害を持つ人には精神障害者保健福祉手帳が発行されます。）



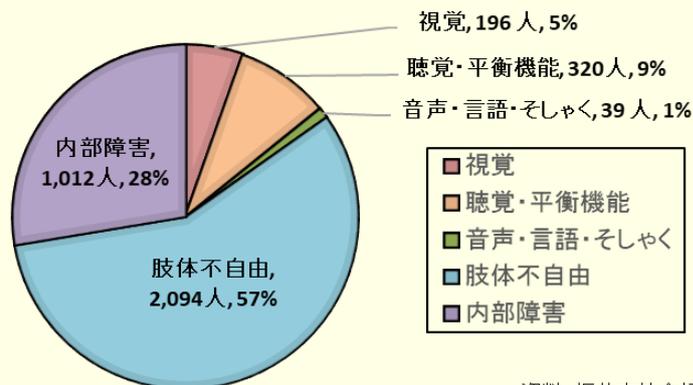
福井県に登録されている身体障害者手帳所持者数は、合計で 38,897 人です。そのうち坂井市は 3,661 人です。身体障害の種類は主に、視覚(見る)、聴覚・平衡機能(聴く・バランス)、音声・言語・そしゃく機能(声・食べる)、肢体(からだの外側)、内臓関連(からだの内側)に分けられます。内訳を表したグラフを見ると、肢体に障害を持つ人の割合が高いことがわかります。

身体障害者手帳所持者数(福井県)



資料: 福井県障害福祉課

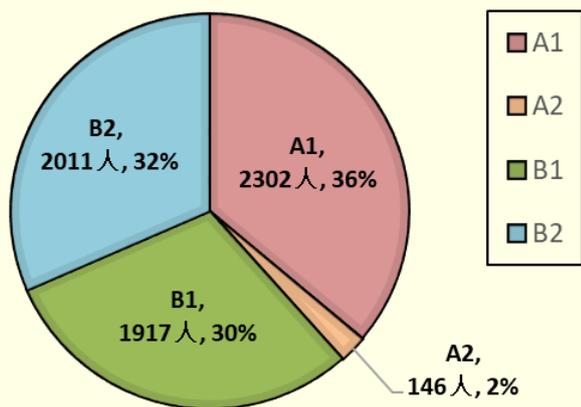
身体障害者手帳所持者数(坂井市)



資料: 坂井市社会福祉課

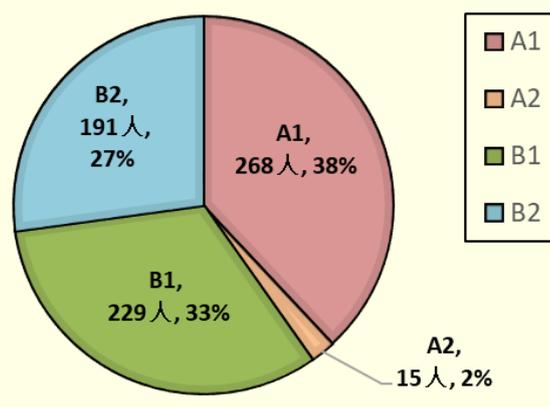
福井県に登録されている療育手帳所持者数は、合計で 6,376 人です。そのうち坂井市は 703 人です。程度の重いものから A1、A2、B1、B2 と分けられます。A2 以外の区分は同程度の割合であることがわかります。

療育手帳所持者数(福井県)



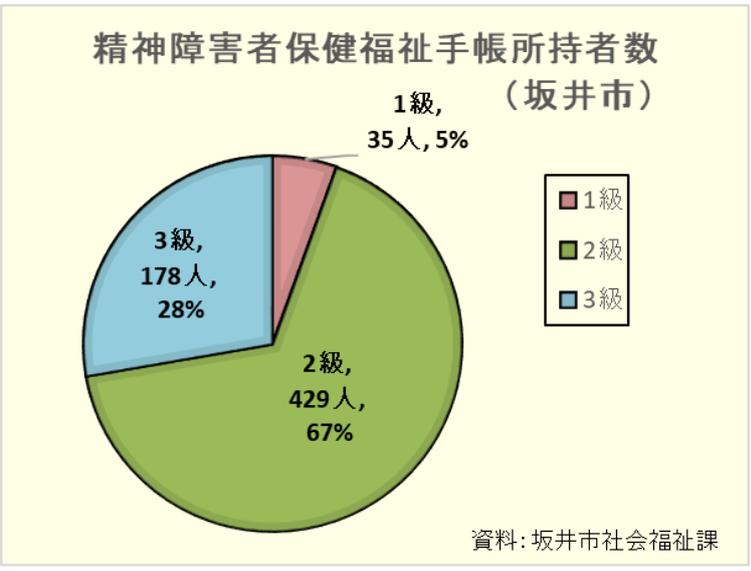
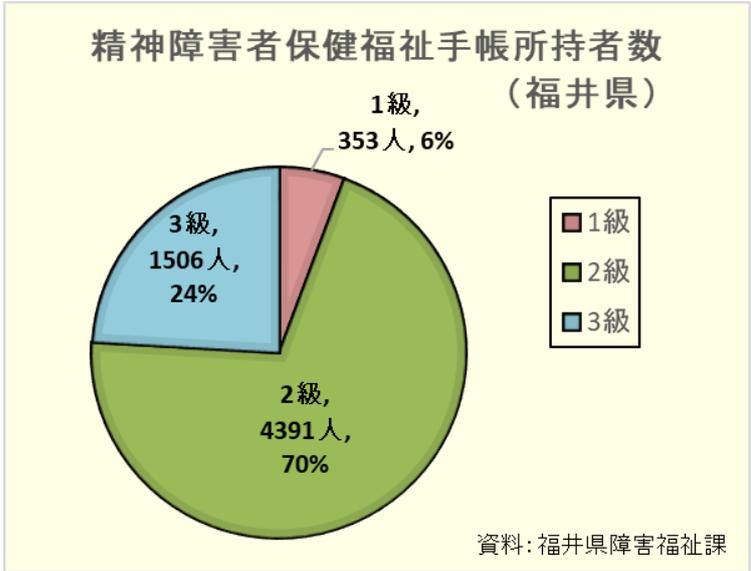
資料: 福井県障害福祉課

療育手帳所持者数(坂井市)



資料: 坂井市社会福祉課

福井県に登録されている精神障害者保健福祉手帳所持者数は、合計で6,250人です。そのうち坂井市は642人です。程度の重いものから1級、2級、3級と分けられます。2級の割合が高いことがわかります。



ボランティア活動した福井県民の割合は全国で9番目！

福井国体・障スポでは、多くの県民の方にボランティアである「競技補助員」として協力をいただきました。それでは、福井県民がどれくらいボランティア活動に参加しているのか見てみましょう。

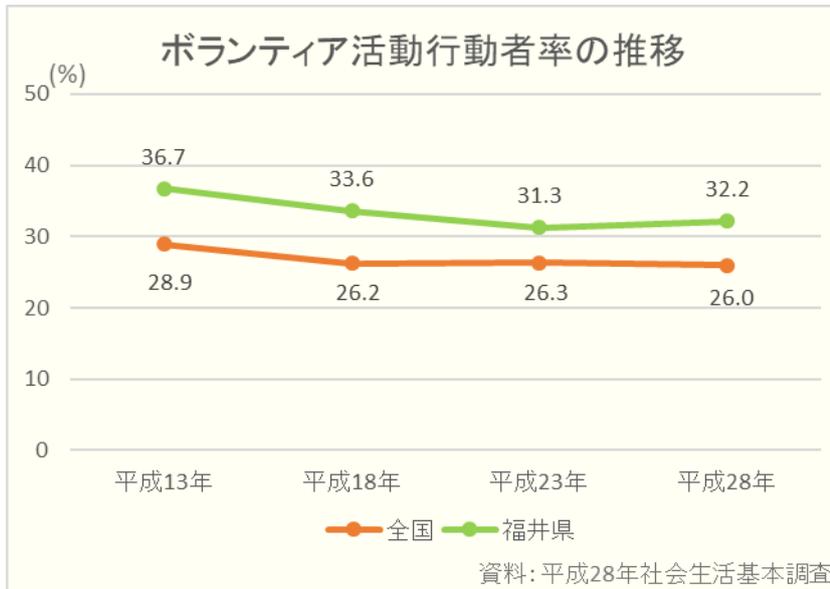
過去1年間でボランティア活動をした人の割合

順位	都道府県	割合 (%)
1	滋賀県	33.9
2	岐阜県	33.4
3	島根県	33.1
4	熊本県	32.7
5	佐賀県	32.6
5	鹿児島県	32.6
7	富山県	32.4
8	長野県	32.3
9	福井県	32.2
9	鳥取県	32.2
11	山形県	32.1
⋮		⋮
	全国平均	26.0
⋮		⋮
45	青森県	22.4
46	東京都	21.6
47	大阪府	20.6

左の表は、過去1年間でボランティア活動をした人の割合(=ボランティア活動行動者率)が高い順に都道府県別に並べたものです。福井県のボランティア活動をした人の割合は、全国でみると9番目で、全国の平均より6.2%高い32.2%となっています。



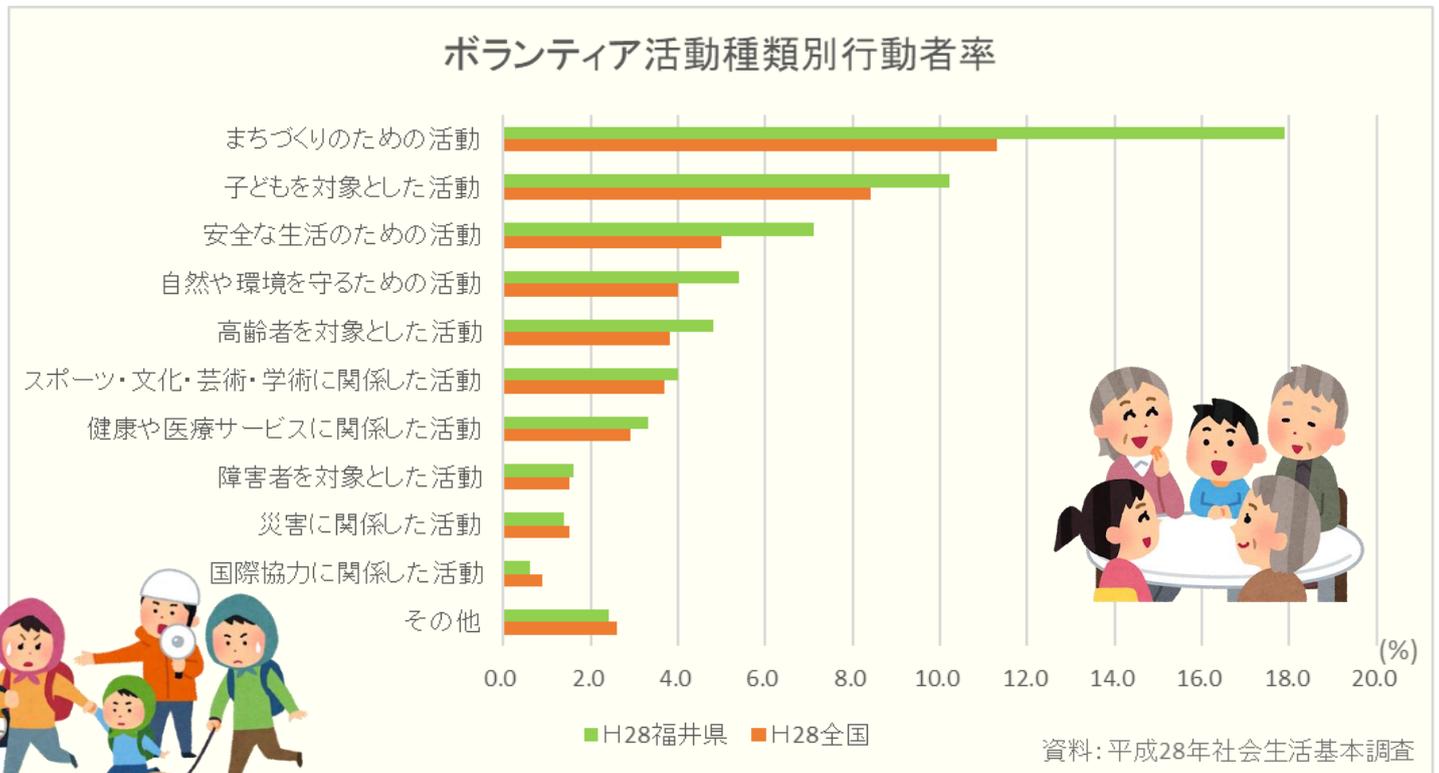
資料：平成28年社会生活基本調査



左のグラフはボランティア活動行動者率の推移を表したグラフです。いずれの年も全国平均より高いことがわかります。



みなさんはどのようなボランティアを行っているのでしょうか。ボランティアの種類別に行動者率を表してみました。



福井県のボランティア活動行動者率の最も高い活動内容は、「まちづくりのための活動」でした。この「まちづくりのための活動」の行動者率は全国第5位となりました。また、男性の「子どもを対象とした活動」の行動者率は全国第4位となっています。

福井国体・障スポは“しあわせ元気”を愛称に、多くの県民の力を結集させて成功を収めました。今大会のテーマの1つでもあったように、年齢・性別・障害の有無関係なくお互いを思いやる優しさを持ち続けることが、今後も県全体の幸福度につながっていくのではないでしょうか。

☆ 今回の数字の答え ☆: 32.2% 福井県の過去1年間でボランティア活動をした人の割合 (H28 社会生活基本調査)